

放送大学奈良学習センター リカレント連続講演会 「名作をジェンダーの視点で読み直す」

第4回 樋口 一葉『たけくらべ』

講師：笹尾 佳代氏

(同志社大学文学部教授)

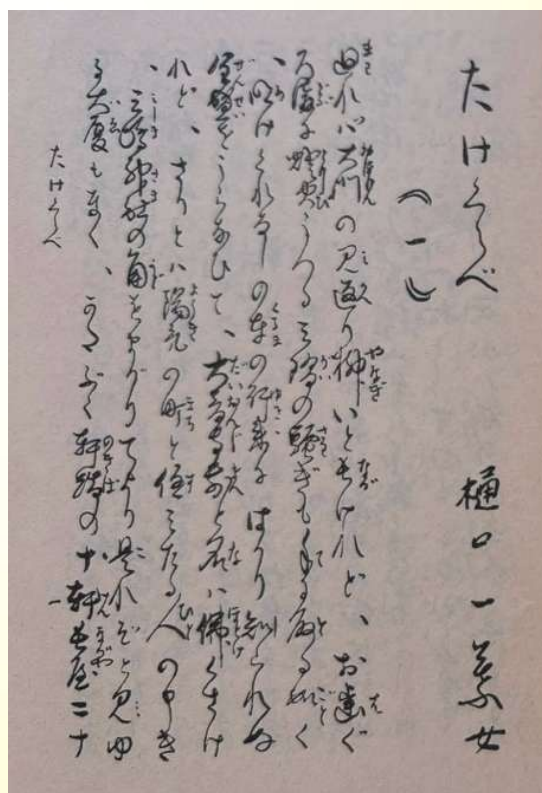


日 時 2026年1月24日(土) 14時30分から16時30分

会 場 放送大学奈良学習センターZ308講義室

※地図は裏面に掲載しています

樋口一葉「たけくらべ」で印象的なのは、快活な美登利が、突如、もの言わぬ少女に変貌してしまうことです。「大人になるのは嫌なこと」と嘆く美登利は、人目を恥じ嘲りや蔑みを感じます。なぜ美登利は「恥」を感じる少女として描かれたのでしょうか。ここには、変転する明治期のジェンダーが大きく関わっていると考えられます。吉原遊廓に隣接した町を舞台としたこの物語に、一葉が託した不条理の訴えに迫ってみたいと思います。



奈良学習センターウェブサイトまたは右のQRコードからお申し込み下さい
難しい場合は電話でお申し込み下さい。定員60名で先着順に受付けます。

主催 放送大学奈良学習センター (Tel: 0742-20-7870)

共催 奈良女子大学文学部言語文化学科「ジェンダー言語文化プロジェクト」
奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター

参加費無料 申込先着順



講師紹介 笹尾 佳代(ささお かよ)

同志社大学文学部国文学科教授。専門は日本近現代文学。主な著書に『結ばれる一葉—メディアと作家イメージ』(双文社出版、2012、単著)、『プロレタリア文学とジェンダー—階級・ナラティブ・インターセクショナルリティ』(青弓社、2022、共編著)がある。

リカレント連続講演会

「名作をジェンダーの視点で読み直す」開催趣旨

ジェンダー (gender) とは、社会的・文化的・歴史的な性のあり方を示す言葉です。しかし、学校教育のなかでジェンダーという言葉が使われるようになったのは最近のことで、世の中にはこれを単純に男女格差のことだと誤解している人も多く、そもそもそれが文学や歴史、社会を考えることとどう結びつくのかよくわからないという声もあります。

文学が私たちの社会の写し鏡だとしたら、文学作品にはその時代の文化的な性のあり方 (ジェンダー) が色濃くあらわれているはずです。この連続講演会でジェンダーの視点をもって文学を読むことを体験してみませんか？

誰もが知っている名著、教科書に出ていたあの名作でも、ジェンダーの視点で読み直してみると、これまでとは違った印象になります。そして今後の読書の楽しみも倍増するはずです。

他回のご案内 こちらも是非ご参加ください。(1回のみの参加でも可)

- | | | |
|-----|--------------------------|-------------------------|
| 第1回 | 11月22日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室 |
| | シャルル・ペロー『赤ずきん』 | 講師:高岡 尚子氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第2回 | 12月13日(土) 14時30分から16時30分 | 於:奈良女子大学文学系N棟101教室 |
| | ブラム・ストーカー『吸血鬼ドラキュラ』 | 講師:中川 千帆氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第3回 | 1月17日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室 |
| | 夏目 漱石『こころ』 | 講師:吉川 仁子氏(奈良女子大学文学部准教授) |
| 第5回 | 2月 7日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 |
| | エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 | 講師:市川千恵子氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第6回 | 2月14日(土) 14時30分から16時30分 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室 |
| | ゲーテ『ファウスト』 | 講師:児玉 麻美氏(奈良女子大学文学部准教授) |

会場のご案内

〒630-8589
奈良市北魚屋東町
奈良女子大学
コラボレーションセンター3階

駐車場はございません。
公共交通機関により
お越しください。

